

第4号

2021年
11月2日
(年4回発行)

国立がん研究センターがん対策研究所

がん情報ギフト かわら版

〈編集・発行〉国立がん研究センターがん対策研究所
がん情報ギフトプロジェクト事務局

〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1 ☎03-3547-5201(ex.1620)

https://www.ncc.go.jp/jp/d004/donation/ganjoho_gift/index.html

11月13日、「連携ワークショップ」を開催します！

■ 開催概要

図書館&がん相談支援センター連携ワークショップ
「いつでも、どこでも、だれでもが、がんの情報を
得られる地域づくりの第一歩2021」を、11月13日に
オンラインにて開催いたします。

当ワークショップは2015年度に発足。公立図書館とがん相談支援センターの新たな連携や活動
状況を広く紹介し、各地域での住民を対象にした医療・健康情報の連携に関する課題等について話
し合う場を設け、取り組みをさらに推進する機会として開催。これまで様々な地域での新しい連
携が誕生してきました。

今回のテーマは「図書館&がん相談支援センターの持続可能な「連携」を考える」。図書館と
相談支援センターの連携は、地域規模や使命などによって様々なかたちがあるでしょう。互いの
持ち味あるいは相違点も熟知しつつ、一過性に終わらない連携の在り方を検討していく機会とい
たします。



■ 内容

13:30~16:00 (終了後、16:00~オンライン交流会)

- 開会あいさつ 国立がん研究センター 若尾文彦
- 図書館&がん相談支援センターの持続可能な「連携」を考える
 - 本ワークショップの企画意図 国立がん研究センター 八巻知香子
 - 講演 琉球大学病院がんセンター 増田昌人
浦安市立図書館 柚木聖
- 各地の取り組み
 - 愛媛県宇和島市での取り組み 宇和島市立中央図書館 大塚美智子
市立宇和島病院 川中真紀
 - 島根県隠岐の島町での取り組み 隠岐の島町図書館 住田美津子
隠岐支庁隠岐保健所 川畑裕子
 - 沖縄県での取り組み 沖縄県立図書館 上原望生・崎山理沙
琉球大学病院がんセンター 増田昌人
- パネルディスカッション
- クロージング

■ 参加対象

医療・健康情報に関心を持つ図書館関係者および行政関係者（県・市町村）、病院内の患者図書室の関係者、がん診療連携拠点病院等のがん専門相談員、相談支援に関わる医療関係者、図書情報学の研究者など。

■ 参加費・参加申込など

- 参加費：無料
- 定員：先着500名
- 参加申込：事前登録制
- 申し込みはオンライン登録より受け付けております。右のQRコードにてアクセスいただき、必要事項を記入し、登録してください。
- 終了後、「受講証」の発行を希望される場合は、登録備考欄に「受講証希望」とご記入ください。

ご参加をお待ちしています！

 申し込みはこちらから



当ワークショップの最新情報はこちらをご覧ください

<https://ganjoho.jp/public/news/2021/20211113.html>

■ お問い合わせ先

- 「参加」に関するお問合せ：
図書館&がん相談支援センター連携ワークショップオンライン運営事務局
（株式会社アカデミック・ブレインズ内）
e-mail：nccws2021@academicbrains.jp
- 「内容」に関するお問合せ：
図書館&がん相談支援センター連携ワークショップ事務局
（国立がん研究センターがん対策研究所がん情報提供部内）
e-mail：library_sodan@ncc.go.jp

「患者・市民パネル」検討会に、寄贈12館が参加！

10月16日、2021年度「患者・市民パネル」検討会に、がん情報ギフト12館（那須塩原市、足立区立梅田、足立区立竹の塚、荒川区立ゆいの森、蕪崎市立、湖南市立甲西、堺市立西、小豆島町立、広島市立中央、宇佐市民、鳥取県立、和歌山県立 各図書館）が参加されました。パネル参加者は55名。

「患者・市民パネル」は、わが国におけるがん対策の総合的かつ計画的な推進のために、患者さんやその家族、一般市民の皆さまの視点を取り入れていくことが不可欠であるという認識から、平成20年度より、国立がん研究センターがん対策研究所が「患者・市民パネル」を募集して活動を行っているものです。

今回の検討会テーマは「確かながん情報を図書館から広げる」。ディスカッションに先立ち、国立がん研究センターがん対策研究所 事業統括 若尾文彦より、がん情報サービスのリニューアル、組織変更について報告。続いて、現在がん対策研究所で制作中の「チラシ」の進捗、「図書館からのがん情報普及」について各担当者より報告されました。また、公共図書館より和歌山県立図書館 松田公利氏が登壇。公共図書館で「がん情報」の提供を行う意義、公共図書館の得意なこと、市民からご協力いただきたい点などが語られました。

その後、10グループに分かれ、図書館利用者にごがん情報サービスやがん相談支援センターを知ってもらうためのアイデア等について、ディスカッションを行いました。各グループには参加12館のメンバーも入り、活発な意見交換の場となりました。

情報

現在、次年度の「患者・市民パネル」メンバーの募集に向けて、準備を進めています。11月中旬に募集開始予定です。「がん情報サービス」にて、最新情報を掲載まいります。ぜひご覧ください！（URL：<https://ganjoho.jp/public/index.html>）

募集開始後、がん情報ギフト寄贈館の皆さまには「募集ちらし」を送付予定です。館内での掲示・配布等にご協力いただければ幸いです。

「がん情報ギフト」を新たに14館へ寄贈予定

11月期新規寄贈として、がん情報ギフトセットを14館へ寄贈されることになりました。2017年の寄贈開始以来、計534館への寄贈になります。14館には11月下旬に、がん情報ギフトセットが送付される予定です。

【長野県】諏訪市図書館 【愛知県】豊田市中央図書館 【新潟県】燕市立吉田図書館
【香川県】三木町文化交流プラザ 【島根県】浜田市立中央図書館 【福岡県】福津市立図書館
【佐賀県】白石ゆうあい図書館・基山町立図書館 【沖縄県】国頭村民ふれあいセンター図書室、久米島図書館「ほんのもり」、北谷町立図書館、宜野座村文化センター図書館、大宜味村図書室、うるま市立石川図書館

* 今期の寄贈は、個人様、緩和ケア推進コンソーシアム様、正力厚生会様の温かいご支援にて、お贈りいたします。

* 沖縄県内のセットは「がん情報ギフトミニ」の送付です。「がん情報ギフトミニ」は、省スペースでも展示可能な、閲覧用冊子のみのセットとなっております。

「巡回展示」を全国で展開していきます！



枚方市立楠葉図書館（2021年4月開催）

本年10月より、「がんを身近に考える」図書展示キットを、全国の図書館にて巡回させていく取り組みを実施しています。この取り組みは「巡回展示」と称し、「がん情報ギフトプロジェクト企画（正力厚生会支援）」として北海道、三重、大阪にて実施。大阪は2022年3月まで府内の図書館をリレー方式で巡回予定ですが、このたび、その対象を全国に広げて実施する運びとなりました。

全国での巡回展示の実施にあたり、がん情報ギフト寄贈館を対象に受入れ募集を行なったところ、75館が応募。全館にて展示いただける

よう、図書展示キットを2セットを新設し、計5セットにて2023年3月まで実施してまいります。

展示キットは、がんの患者さんが直面する食事、就労、経済面などの生活上の課題について、4つのシナリオをもとに選書しています。シナリオは、「ママ友ががんになったら」「部下ががんになったら」「友達ががんになったら」「おじいちゃんががんになったら」として、周囲の誰かががん罹患した場合を想定。がん罹患していない方にも手に取っていただけるような選書リストになっています。あなたの街の近隣図書館で開催されたら、ぜひお運びください。

▶今後の予定（2021年11月～2022年2月）

「がんを身近に考える」図書展示キット 開催予定

2021年11月	市立米沢図書館・練馬区立春日町図書館・堺市立西図書館
2021年12月	新地町図書館・足立区立竹の塚図書館・吹田市立健都ライブラリー 水戸市立内原図書館・平戸市立平戸図書館
2022年1月	袋井市立袋井図書館・駒ヶ根市立図書館・泉大津市立図書館 所沢市立所沢図書館本館・くまもと森都心プラザ図書館
2022年2月	潮来市立図書館・福岡市総合図書館・泉佐野市立中央図書館 富士見市立中央図書館・臼杵市立臼杵図書館

編集後記

10月16日に開催された2021年度「患者・市民パネル」検討会に、初めて図書館のご担当者様に参加いただきました。「確かながん情報を図書館から広げる」をテーマに、各グループには図書館ご担当者もお入りいただき、和やかな雰囲気のもと、参加者同士、活発な意見やアイデアが出されました。「図書館と市民が直に語れる場」がさら増えていければと思います。